

## 平成29年度宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会 会議録

日 時：平成29年5月13日（土）午後2時開会、4時30分閉会

場 所：宮沢賢治イーハトーブ館講義室

出欠者：出席委員 岡村委員、榊委員、瀬川委員、高橋委員、伊藤諒子委員、浅沼委員、岩田委員、多田委員

欠席委員 伊藤賢治委員、小原委員

説明者 菅野賢治まちづくり課長（生涯学習部長代理）、富山館長、藤井副館長

会議開催前に、出席者が自己紹介した。

### 1 開 会

### 2 あいさつ（概要）

富山館長

代表理事、館長としての責任を痛感している。栗原さんの後であるが、微力ながら、イーハトーブ館、学会をより良くしていきたい。審議会は、提言・意見をいただく貴重な機会と考えている。

菅野賢治まちづくり課長

イーハトーブ館の運営に指導・助言をいただき、ありがとうございます。昨年の宮沢賢治生誕120年記念事業の協力に感謝する。イーハトーブ館は建設して25年目となり、施設はご不便をかけないよう修繕していく。忌憚のないご意見をいただきたい。

### 3 議 事（概要）

岩田会長が議長になり議事を進行（宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第6条第2項）

#### (1) 平成28年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業報告について

藤井副館長

平成28年度年報により、平成28年度の事業概要を説明した。

岩田議長（会長）

宮沢賢治生誕120年記念事業は大変だった。

岡村委員

平成23年に入館者が少なかったのは。

藤井副館長

東日本大震災の影響と考えられる。

瀬川委員

入館者数はどのようにカウントしているか。地元と市外の入館者数の把握は。

藤井副館長

入館者数は、受付案内でカウントしている。地元と市外の入館者数は、把握していない。

榑委員

イーハトーブ館は、観光施設とは異なる。蔵書の活用にも光をあてる。文献検索に活用し、アピールしていくことができたらと思う。

岡村委員

県立、市立図書館と連携していけたら。

瀬川委員

市立4図書館と連携できたら。

藤井副館長

図書館でイーハトーブ館資料を検索できるよう検討した経緯はあったようだが、実施していない理由はわからない。ただ、イーハトーブ館は図書館ではないため、図書の貸し出しはできず、閲覧のみとなる。

※ 5月17日宮沢賢治記念館牛崎さんから聞き取り

以前に、花巻市図書館で記念館、イーハトーブ館の図書資料を検索できるようにしていた。システムの更新時期（少なくとも平成19年以前）に、理由は不明だが、図書館のほうで記念館、イーハトーブ館の図書資料を検索することはやめてしまったようだ。

菅野賢治まちづくり課長

図書館建設の計画で賢治資料の充実が必要であり、イーハトーブ館とのデータの連携は検討していく。

榑委員

学芸員は大事、結局は人。人間がシステムを動かせる。職員を大事にしてほしい。

岩田会長

今後、大いに考えるべき課題だ。

菅野賢治まちづくり課長

部長とそういう話をしている。

高橋委員

駐車場の誘導ラインが必要だ。駐車幅をゆったり取っているが、狭めればもう少し駐車できる。

藤井副館長

誘導ラインは、対応できる範囲で検討していく。

菅野賢治まちづくり課長

工夫して何とかできるのであれば。駐車幅を狭くすることは、そういう流れにはないと思う。

岩田会長

課題としてください。

瀬川委員

熊が出た場合の対策は。

菅野賢治まちづくり課長

目撃情報があった場合は、立ち入り禁止、注意等の看板を設置している。熊の駆除まで

は行っていない。童話村は音楽のボリュームアップをしている。

浅沼委員

きれいに整地していれば、熊は出ない。下草刈りをしていけば熊は出ない。藪には出る。

榊委員

この辺の土地の所管は。

藤井副館長

駐車場から南側、ボタン園の境までがイーハトーブ館の所管。ボタン園は公園緑地課、遊歩道側は農村林務課の所管である。遊歩道は、イーハトーブ館の清掃委託できれいにしている。

岡村委員

胡四王神社のあたりは、草ぼうぼうだ。

多田委員

春季セミナーで板垣さんの話は良かった。地元の専門外の方の話も良い。

浅沼委員

講演はあまり専門的過ぎる。都会の方は、講演の内容としてあまり（専門的なものを）必要としないのではないか。

榊委員

学会は最先端の研究を度外視できない。両方のバランスが必要だ。

多田委員

研究にも取り混ぜていただきたい。

瀬川委員

研究も必要だが、間口を広げることが必要だ。市民の会と学会の温度差を感じる。

伊藤委員

市民の会からの独自の企画はなく、学会の企画に応じている。

榊委員

瀬川さんから具体的提案がほしい。学会理事はボランティアで時間を割いている。会議に一堂に会することも難しく、会議も今回は2～3つあり、市民の方との交流は時間的にも難しい。文系学部はつぶされかけており、文系大学の先生は振り回されている。

岡村委員

賢治学会は日本一忙しい学会。具体的な提案をいただければ。

榊委員

夏季セミナーのエクスカージョンは、花巻電鉄沿線を検討している。

伊藤委員

市民の会に話してもらえれば、協力できる。

高橋委員

地元の言っていることを学会の事業としての実施は難しい。話し合う機会がほしい。

岩田会長

専門的な追求と広がりとは、両方を同時に進める方向を考えていくべき。

富山館長

考えている。春季セミナーでは、板垣さん、伊藤さんの話も一つの例。学会以外での事業もある。小規模での話を聞く機会を設けていく。地元の活動を、インターネットを活用して紹介できる。

(2) 平成29年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画について

藤井副館長

平成29年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業計画（案）について、別紙資料により説明した。

富山館長

「賢治と樹木」展は手探りの状態だ。

浅沼委員

早池峰賢治の会は、賢治の足跡を歩く事業を行っている。市民の会の協力をいただいたら。

岡村委員

基本は展示。写真・情報提供いただきたい。

榊委員

（賢治ゆかりの）樹木はなくなっている。頭を痛めている。

岩田会長

花巻市内の賢治の会4団体連合で発掘が必要ではないか。

高橋委員

賢治の手をかけた木は1本もない。できる限り協力する。

菅野賢治まちづくり課長

ゆかりの木をいつか整理しないと。

岩田会長

地元で、合同で話をしてもらうことも大事だ。

富山館長

ルートマップ、写真の展示を考えているが、時間も限られている。責任者がいないと難しい。

岡村委員

佐藤孝さんがいいのでは。

瀬川委員

花巻市民の会、早池峰賢治の会に要請してもらえればいいのでは。

高橋委員

責任者は阿部弥之さんでいい。

榊委員

声かけをさせていただく。

瀬川委員

（事業等の）告知の浸透は。

菅野賢治まちづくり課長

広報はなまきや賢治カレンダー等で周知している。事業決定と掲載時期のタイミングがある。

藤井副館長

そのほか、ポスターやチラシ、市と学会のホームページ、センターだより、コミュニティFM等で周知に努めている。企画展は、市内の小・中学校にポスター掲示もしている。

浅沼委員

賢治祭は閑散としていた。難しい話をした。何で、花巻弁で話さないのかと思う。

榊委員

春季セミナーの参加者は多かった。

岩田会長

学会の方の話は難しい。5人は、(人数として)多く、スピーチは難しい。

岡村委員

今の年齢構成を考えると、高齢者向けのイベントを考えてもいいかもしれない。

榊委員

新たなセミナーを実施できる体力はない。

岩田会長

花巻の子どもたちに賢治の顕彰がかかっている。

榊委員

今の取組みで十分だと思う。

浅沼委員

学会と市民の間が狭まってこない。

瀬川委員

子どもの時に「風の又三郎」の劇を見たのが印象に残っている。そうした機会が必要では。

藤井副館長

イーハトーブ館ホールで「どんぐりと山猫」を上演した。そのほか、寄席やコンサートなど、様々な催しを行い、賢治に触れる機会を提供している。

岩田会長

連携を深めながら進めていきたい。

富山館長

インターネット、市、学会のホームページを活用していく。若い方たちにも見ていただきたい。

岡村委員

「賢治と樹木」展で市民の会と連携できればいい。

高橋委員

両方うまくやるために、地元の間人も考え直す必要がある。市民のためにならないと、学会の意義がないとの極端な考えもある。学会の功労賞はいい。

以上の意見が出されたが、(1) (2)とも原案のとおり決定された。

4 その他  
協議事項等なし。

5 閉 会